
第 21 号

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生資源事業協同組合連合会

〒101-0076 東京都千代田区五番町12-6

TEL 03(3263)9101

FAX 03(3263)9102

発行人 福田啓治

編集人 佐藤和夫

印刷 ㈱資源新報社

日資連全国宮城大会おめでとうございます

= 循環型社会に向けて大同団結!! =

会長あいさつ

福田啓治

第二十八回日資連全国宮城大会を開催するに当たりご挨拶申し上げます。北日本支部の皆さんの設置により、この様な立派な秋保温泉ホテル佐藤において盛大に開催出来ますことに感謝致します。二十一世紀に向かって、わが国の基本的方向が決まる衆議院議員選挙の二〇〇六年六月二十五日の当日、ご来賓各位の皆様、全国各地からご出席いただいた会員の皆さんに心よりお礼申し上げる次第であります。

さが出ています。古紙需給も前年比五・五％一七〇〇万トン時代と史上最高の実績となり、製紙産業の古紙利用率五・六計画をクリアしています。問題は資源循環型社会構築の時代でありながら、古紙、鉄屑など主力再生資源価格の低価格が続いている点にあります。

各法案が成立

社会的役割づけ

積極的組織拡充

明るさ出る業界

今日の経済情勢は皆さんご承知のように緩やかな景気回復の軌道にのりつつありますが、中小企業、我々再生資源業界にとつて未だ実感が乏しい状況が続いていますが、平成十一年度の粗鋼生産は高炉生産の伸びが顕著で九八〇万トンとなり、本年四・六月期の粗鋼生産二六〇万トンから年間一億二〇万台乗せも得る状況にあり、紙・板紙生産も前年比四・一％アップの三・一〇二万トンと平成十一年度の紙板産業の設備投資は前年比二・五％増と今日の経済状況の中では大手洋紙メーカーは増収増益となつて明るさが示されていますが、ベツ

環境保全の観点からのリサイクルに関わる法律が五月下旬に国会を通過、今後全面的に順次施行されることとなった。今回環境省、農林水産省など各府省で法律ができていくが、今回は環境庁の「循環型社会形成推進基本法」が各法律のアウトラインとして指針を示すこととなる。

「循環型社会形成推進基本法」が各法律のアウトラインとして指針を示すこととなる。

「循環型社会形成推進基本法」が各法律のアウトラインとして指針を示すこととなる。

循環型社会形成推進基本法が制定

資源の有効な利用確保へ

日資連基本計画

(1) リサイクルシ

「循環型社会形成推進基本法」が制定されたことは、資源の有効な利用確保に大きく貢献するものと考えています。本法案と一体的に整備される法律は、再生資源利用促進法の改正、建設資材リサイクル法、食品リサイクル法など、資源の有効な利用確保に大きく貢献するものと考えています。

「循環型社会形成推進基本法」が制定されたことは、資源の有効な利用確保に大きく貢献するものと考えています。本法案と一体的に整備される法律は、再生資源利用促進法の改正、建設資材リサイクル法、食品リサイクル法など、資源の有効な利用確保に大きく貢献するものと考えています。

Eメール記者募集!!

宮城大会おめでとうございます。広報委員会では新年度より進めている「情報ネットワークづくり」として、一般会員のEメール記者を募集致します。組織強化だけではなく、法律や地域で困っていること、知りたい情報等を交換し、また広報紙で紹介させていただくものです。もちろん日資連情報も送信致します。詳しくは事務局草間まで連絡を!!

福田会長を再選

第28回総会、賦課金で白熱／

第二十八回日資連通常事務理事と杉山財務担当 総会が五月十三日午後一 時より日資連事務所に於 いて開催された。健康を 回復した福田会長は一迷 惑をおかけした分お返し をしたい。全力で頑張る と挨拶。 議長には入江氏（大阪） と阿久津氏（栃木）が 選ばれて審議に入った。第 一号議案の平成十一年度 事業報告が福田会長以下 執行部より行われ、収支 決算関係については斉藤 定。	が行い承認を得た。第二 号議案の事業計画案と予 算案については執行部か らの説明、各委員長から の説明で可決された。第 三号議案の経費の賦課及 び徴収方法については金 額組合員数について議論 と提案あり、後日理事 会で検討することを約束 した。 その他の件では、リサ イクルシステム議員懇談 会事務局長の大畠章宏衆 議院議員を日資連顧問に 推戴する事を決定した。 出席者より理事長の補 佐役の順位を定めておく 必要があるのではないかと 必要があり、後日理事 会を終了し、各 支部、青年部報告がなさ れ閉会となった。
---	--

(1)市況対策委員会
再生資源業界の健全なる発展を図って行くためには、回収業者、再資源化業者の経営の健全化が第一条件となり、回収コスト、再資源化コストの確保ができる再生資源価格帯の確立が必要である。

このために関連業界、地方自治体、市民団体との連携はもとより、日資連が主軸となつて、各支部、各ブロックがそれぞれ、各ブロックがそれぞれ、市況モニター制度を

城市町村行政と対応組織作りをし、各地の有る利点を問題点を分析し、全国に渡つての細かい情報を提議する組織を目指す。

以上の観点より、市況対策委員会では引き継ぎサイクル事業推進委員会と合同で会議を開いていきました。また、種りサイクル法に對し、資源回収業界位確保の為に継続市況モニター制度を

[illegible]

(A) 安定したリサイクルコスト負担システムの確立や、回収業界の明確な位置付けを旨として関係各機関に働きかける。

(B) 市民と関係業界との連携を深め、新世紀の循環型リサイクル社会構想を立案する。

(C) 国や自治体およびその関連機関が実施する各種委員会・講習会などに参画し、回収業界の地位向上に努力する。

(D) 市況対策委員会や青

(A) 委員会の活発な活動年に一回は地方への取材活動を行いお互いに啓発しあい、活気ある委員活動へつなげる。

(B) 紙面の充実
取材活動を起爆剤として委員会のメンバーが切実な課題を紙面に掘り下げる内容豊富な紙面づくりをめざす。

(C) 年間スケジュールの作成と計画
発刊予定を年4回とし

「循環型社会形成推進基本法案」「環境基本法」「容器包装リサイクル法」「家電リサイクル法」の「一対一」対応策を各省庁と進めていく。

特別委員会では、事業計画の基本方針に挙げられた「リサイクルシステム」議員懇談会と連携事業の推進、「リサイクル対応策の研究と対応」に重点をおいて委員会活動を推進していく。

名簿作成に当って

日資連名簿作成委員長 西本 仁

先ず、日資連の全国会員の皆様にこの度の名簿作成にこの協力を賜り又ご尽力頂き誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

かと思えた。以前から私た。〇〇万円を目標に一円でも多く集めるべく私達自身が闘志に燃え、何度か東京の事務所にも集まってきたのは協議を繰り返して行っ

お世話になった。また再
 発しないとは限らないと
 約束した以上たえ何と
 しても命のある間に「名
 簿作成の実現」を平成
 十一年一月からぼつぼつ
 いかと私は考えます。
 しい時でも、私の我
 まを聞き入れてくれ
 を言っても我慢をし
 に怒られながら最後
 よく付き合ってきて

忙 連携
かま (B)各地区の市況や情報
の収集をはかるための部
会運営
(C)リサイクル推進会議
の対応

リターナブルびんに関
しても情報を収集して部
会内で討議したい。
カレットも余剰感があ
り、品質・価格の面で苦
しい展開となるであろう

(3)リサイクル化証明
書委員会
今年度は各単協の支援
を受けリサイクル化証明
書の広い認知、多くの普
通の市民の理解を得る
ことを目指す。

(F)日資連のルーフレツ
ツ

広報活動、紙面の掲載に
役立たせる。

(E)広告掲載の依頼 各
単協組への広告掲載をお
願ひする。

また、市民団体・地方自治体との連携を強化する。この情勢の変化に立ち向かうべく、団結していきたい。

今、振り返って見ますが大変時間が掛り遅くなりましたが、ようやく実現がこぎつきました。私が名簿作成の提案申し上げたのは平成九年六月の理事会の席上でした。全国組織の日資連会員数三〇〇〇名近くおられるのに、まさか会員名簿が無いとは私は信じられなかった。それと毎回議題に上がるのが財政問題と我々業界の窓口である原局認可を取得すること

が何處も提案していたのでも得るが、どなたの賛同もなかった。『ヨシッ私がやるしかない』と思い、理事会にはかり承認を得た上で名簿作成実現に向けて踏み切ったのである。

当時、広報委員長の佐藤氏と栃木の星本氏と大阪の入江氏と資源新報の太田原氏に協力を依頼し、私の五人で名簿作成実行委員会が動きました。当初は、一五〇〇万から二

しかし、その月の六月、突然ガンに病院の医師から喉頭ガンと宣告された。手術は一日も早い方が良しとの事で七月十日に喉頭摘出手術を受けた。四十五日間の闘病生活の末退院したものの全く喋れない、又筆談もまま成らない、機械（人工喉頭）を使用すると「食道発生」が遅くなると言われたので使わず我慢した。まるで唾者と同じである。担当の先生から「ガンも

取り掛かった。取り掛かった時点では、景気もまだ今よりは少し良かったが年々景気が悪化し倒産の相次ぐ中、広告募集も思うように行かず、大変厳しい中を私達業界の各県の代表者である理事長はもちろん、関係企業様にも広告の御依頼を度々お願いを協力頂いた。その結果、今回りの実現を迎えるに至り、関係各位の皆様方に改めて御礼申し上げます。

た。このことに対して。本当にお心より感謝しめてお礼申し上げます。でも感謝状を差し上げざるを得ない気持ちで一杯です。の名簿作成の事業を私が感じたことは事も成せばなる」の命立ち向かえば不可能だと確信したので今後の日資連運営も皆で力を合わせられたと云ふ大事でも留まることができると思っています。

(D)各委員会、部会との情報交換及び連携
(E)日本鉄源協会に對する協力
(2)リサイクル事業推進委員会
昨年度委員会としての宿題は、民間回収業界の維持拡大策・リサイクルコスト負担の新たなシステムの構築・業界内の秩序作りなどで新年度継続して検討することになるが、リサイクルシステムが、リサイクルシステム・議員懇談会・関連業界・市民団体などと連携を取り資運としてリサイクル

及使用を目的に目標を持ち、日資連の大きな財政基盤になるよう努力することであり、今後は厚生省との話だけではなく通産省を始め他の省庁との関わりと関係業界団体とも協議をし、内容の見直し、協力を推し進めて行きたいと思います。

(4)広報委員会
役員改選期にあたり新しい人材、新たな発想で事業活動にのぞんでいき

トの作成
(G)各単協組のニュースの収集

(5)特別委員会
リサイクルシステム議員懇談会との連携の中で「廃掃法の一部改正」再生資源の利用の促進

リサイクルシステム議員
民間リサイクル機構の
資源循環型社会は経済
組織拡充で日資連の社

平成十二年度加入目
標地区
▽兵庫県(西部)、▽京都府、▽滋賀県、▽広島県西部(福山)、▽広島県西部、▽山口県、▽高知県、▽佐賀県、▽長崎県、▽大分県、▽鹿児島県、▽沖縄県

議員懇談会と連携強化を
発展的の確立を
積極性のあるリサイクルで
社会的位置付けを

平成12年度事業計画

— 九各都道府県組織及

市況対策委員会
 再生資源業界の健全な発展を図るため
 一、回収業者、再資
 業者の経営の健全化
 二、条件となり、回
 ト、再資源化コスト
 保ができる再生資源
 帯の確立が必要であ
 のために関連業界、
 自治体、市民団体と
 警察はもとより、日資
 主軸となつて、各支
 各ブロックがそれぞ
 であつたので心配は
 「とおっしゃるに
 らず、また右の喉が
 んで来た。翌年六月
 手術を受けることに
 同病院で四十二日間
 話になつた。また再
 ないとは限らないと
 した以上たえ何と
 も命のある間に「名
 成の実現」を平成
 年一月からぼつぼつ
 掛かつた。
 掛かつた時点で、
 り掛かつた時点では、
 もまだ今よりは少し
 つたが年々景気が悪
 倒産の相次ぐ中、広
 集も思うように行か
 大変厳しい中を私達
 の各員の代表者であ
 事長はもちろん、関
 業様には広告の御依
 々々お願ひを協力頂
 々々。その結果、今回
 現を迎えるに至り、
 各位の皆様方に改め
 申し上げます。

城市町村行政と対応
 組織作りをし、各地
 有の利点や問題点を
 分析し、全国に渡つ
 ける細かな情報を提
 ける組織を目指す。
 以上の観点より、
 対策委員会では引き
 リサイクル事業推進
 会と合同で会議を開
 ていきたい。また、
 種リサイクル法に対
 研究、資源回収業界
 位確保の為に継続
 市況ニター制度を

実現まで約四年間
 う長い歳月がかり
 たが、今しじみ振
 り思い起こして見
 この成功の一番の功
 は事務局の草間君で
 いかと私は私
 しい時でも、私の
 まを聞き入れてくれ
 まを言つても我慢を
 に怒られながら最後
 よく付き合つてきて
 だ。この心に対し
 本当に心より感謝
 めてお礼申し上げ
 もに感謝状を差し
 い気持ちで一杯です
 の名簿作成の事業
 が感じたことは
 事も成せばなる」
 立ち向かえば不可
 と確信したことで
 今後の日資運営も
 り皆で力を合わせ
 たといふ事な
 できると確信してい

する 区特 調査 用、 法律 を十 に理 解し 、か つ資 源業 界と して の立 場を 認め しな がら 、リ サイ クル を推 進し て行 く必 要が ある 。過 当競 争な ど業 界破 滅の 道を たど らな い 対応 が求 めら れる 。 その ため に、 リサイ クル システ ム議員 懇談会 を通 じて 働き かけ を行 い、 各委員 会と連 携しな がら、 市況、 各地区 状況、 法律の 研究、 日資連 デー タの作 成、業 界の資 源化 能力な どを掌 握し、 自ら 生き る環 境を 切り 開く こと が必 要で ある 。 (A)関 係機 関各 政党 との 連携 (B)各 地区 の市 況や 情報 の収 集を はか るた めの 部 会運 営 (C)リ サイ クル 推進 会議 の対 応 (D)各 委員 会、 部会 との 情報 交換 及び 連携 (E)日 本鉄 源協 会に 対 する 協力 と す る こ と 。 (2)古 紙部 会 平成 十二 年度 は動 脈産 業と して の新 聞社 、洋 紙 メー カー 、静 脈産 業と して の我 々再 生資 源業 界と 七都 県市 の地 方自 治体 との 連携 によ る経 済性 、効 率の 良い 古紙 リサイ クル の環 境シ ステ ムの 定着 が必 要で ある 。 日資 連と して リサイ クル	①金属部会 平成十二年度は、リサイクル化証明書などの運用、廃棄物への対応など法律を十分に理解し、かつ資源業界としての立場を認識しながら、リサイクルを推進して行く必要がある。過当競争など業界破滅の道をたどらない対応が求められる。 そのために、リサイクルシステム議員懇談会を通じて働きかけを行い、各委員会と連携しながら、市況、各地区状況、各法律の研究、日資連データの作成、業界の資源化能力などを掌握し、自ら生きる環境を切り開くことが必要である。 (A)関係機関各政党との連携 (B)各地区の市況や情報の収集をはかるための部会運営 (C)リサイクル推進会議の対応 (D)各委員会、部会との情報交換及び連携 (E)日本鉄源協会に対する協力とすること。 (2)古紙部会 平成十二年度は動脈産業としての新聞社、洋紙メーカー、静脈産業としての我々再生資源業界と七都県市の地方自治体との連携による経済性、効率の良い古紙リサイクルの環境システムの定着が必要である。 日資連としてリサイク	組織の対応力を強め、再生資源業界の経営健全化と社会的地位の確立を基本方針とする。 (A)再生資源業界の経営健全化と適正コストの確保のための市況対策 (B)委員会の組織的運営 (C)通産省、財古紙再生促進センター等全国製紙原料商工組合連合会との関係強化 (D)地方自治体との官民連携と役割分担の明確化 (E)市民団体との交流強化 ③ビン・カレット部会 カレットはビンの原料と他用途に供する2通りであるが、今後は主に他用途に関する情報が、必要となるであろう。 リタナブルびんに関する情報は収集して部会内で討議したい。 カレットも余剰感があり、品質・価格の面で苦しい展開となるであろうが、現状を掌握して情報の提供に努めたい。
--	--	--

(A) 安定したリサイクルコスト負担システムの確立や、回収業界の明確な位置付けを旨として関係各機関に働きかける。

(B) 市民や関係業界との連携を深め、新世紀の循環型リサイクル社会構想を立案する。

(C) 国や自治体およびその関連機関が実施する各種委員会・講習会などに参画し、回収業界の地位向上に努力する。

(D) 市庁対策委員会や青年部と協力し、引き続き各地域の実情や国自治体などの動きを調査し、適切な対策・諸願活動などを実施する。またそのための研修やシンポジウムを開催する。

(3) リサイクル化証明書委員会
今年度は各単協の支援を受けリサイクル化証明書の広い認知、多くの普及使用を目的に目標を持ち、日資連の大きな財政基盤に資するよう努力することであり、今後は厚生省との話だけではなく通産省を始め他の省庁との関わりと関係業界団体とも協議をし、内容の見直し、協力を推し進めて行きたいと思います。

(4) 広報委員会
役員改選期にあたり新しい人材、新たな発想で事業活動にのぞんでいき

(A) 委員会の活発な活動年に一回は地方への取材活動を行いお互いに啓発しあい、活気ある委員会活動へつなげる。

(B) 紙面の充実
取材活動を起爆剤として委員会のメンバーが初版琢磨し内容豊富な紙面制作成と計画
発行予定を年4回としして各号ごとに企画を立立て積極的に効率の良い体制を作る。

(D) 他の委員会との連携
委員会の中心となる青年部をはじめ、他の委員会とも連携をとりながら広報活動、紙面の掲載に役立たせる。

(E) 広告掲載の依頼
各単協組への広告掲載をお願いする。

(F) 日資連のルーフレット作成
(G) 各単協組のニュースの収集

(5) 特別委員会
リサイクルシステム議員懇談会との連携の中で「廃掃法の一部改正」「再生資源の利用の促進法」リサイクルシステム議員間リサイクル機構の資源循環型社会は経済組織拡充で日資連の社

「循環型社会形成推進基本法案」「環境基本法」「容器包装リサイクル法」「家電リサイクル法」の「家電リサイクル法」の対応策を各省庁と進めていく。

特別委員会では、事業計画の基本方針に挙げられた「リサイクルシステム議員懇談会と連携事業の推進」「リサイクル対応策の研究と対応」に重点をおいて委員会活動を推進していく。

(6) 活性化委員会

平成十二年度も引き続き、未加入地区への加入活動と未組織地区への組織活動を行う。未加入地区・未組織地区に対し、全国ネットワーク構築の利点をアピールする。

また、市民団体・地方自治体との連携を強化する。この情勢の変化に立ち向かうべく、団結していきたい。

平成十二年度加入目標地区

▽兵庫県(西部)、▽京都府、▽滋賀県、▽広島県東部(福山)、▽広島県西部、▽山口県、▽高知県、▽佐賀県、▽長崎県、▽大分県、▽鹿児島県、▽沖縄県

議員懇談会と連携強化を発展的確立を

積極性のあるリサイクルで社会的位置付けを

ーりが多いようです。一般からの物はマイナス十という回答もありまして、これについては取
 占所有者が自ら利用し、
 (一)有用物、
 お願い申し上げます。
 《法適用》
 培ってきた市民とのパイ
 プと、本来の姿である古
 紙回収がおちそかになっ
 ているように見えるのは

再生原料の反手素材に至って全く供給過剰となり在庫できない状況に陥ったもの。そして繊維メーカーの発生抑制として事業系に「タンズ在庫」の協

再生原料の反手素材に至って全く供給過剰となり在庫できない状況に陥ったもの。そして繊維メーカーの発生抑制として事業系に「タンズ在庫」の協

栃木県資源回収事業協同組合
理事長 阿久津 守光
〒322-0035 鹿沼市朝日町1952-2
TEL 0289(62)2239 ・ FAX 0289(62)2239

他用途は限定需要

古紙のリサイクルにおいて紙以外の他用途利用の分野で固形燃料のRDF、RPFがある。現在、順調に流れているのは限られたものでだけコストと需要の課題がクリアされていない。古紙が余剰の時にらざらず、製紙会社の設備増設の中、需給タイトの現状ではクローズアップされていない。	古紙の利用増大に連産省指導のもと研究された。しかし、ダイオキシン問題からサーマルリサイクルの転換は慎重を要し、限られた組成でしか現実として受け入れ先がない。特に塩素の問題は高いハードルとなった。安易に市町村で取り入れたところは何となく引き取ってもらって使ってもらっているという始末。ただ、研究熱心と何となくリサイクルさせたいという企業家が進めたものは商売としても成り立つほどの発展を納めている。	ED DERIVED FUELSの略で一般廃棄物（事業系も含む）から破砕、分離、硬化されたもの、固形燃料といふこともあり、初期において乾燥過程において乾燥の危険性があった。紙ごみを主原料として、発熱量五〇〇〇Kcal/リ前後、長さ一〇〇ミリ前後で、ボイラー効率九〇％弱というもの。初期においては発熱量が成分の問題から一定せず困惑した。RDFをつくる際の品質管理、作業工程と塩素を分離する。ウ	古紙のリサイクルにおいて紙以外の他用途利用の分野で固形燃料のRDF、RPFがある。現在、順調に流れているのは限られたものでだけコストと需要の課題がクリアされていない。古紙が余剰の時にらざらず、製紙会社の設備増設の中、需給タイトの現状ではクローズアップされていない。	古紙の利用増大に連産省指導のもと研究された。しかし、ダイオキシン問題からサーマルリサイクルの転換は慎重を要し、限られた組成でしか現実として受け入れ先がない。特に塩素の問題は高いハードルとなった。安易に市町村で取り入れたところは何となく引き取ってもらって使ってもらっているという始末。ただ、研究熱心と何となくリサイクルさせたいという企業家が進めたものは商売としても成り立つほどの発展を納めている。	ED DERIVED FUELSの略で一般廃棄物（事業系も含む）から破砕、分離、硬化されたもの、固形燃料といふこともあり、初期において乾燥過程において乾燥の危険性があった。紙ごみを主原料として、発熱量五〇〇〇Kcal/リ前後、長さ一〇〇ミリ前後で、ボイラー効率九〇％弱というもの。初期においては発熱量が成分の問題から一定せず困惑した。RDFをつくる際の品質管理、作業工程と塩素を分離する。ウ	古紙のリサイクルにおいて紙以外の他用途利用の分野で固形燃料のRDF、RPFがある。現在、順調に流れているのは限られたものでだけコストと需要の課題がクリアされていない。古紙が余剰の時にらざらず、製紙会社の設備増設の中、需給タイトの現状ではクローズアップされていない。	古紙の利用増大に連産省指導のもと研究された。しかし、ダイオキシン問題からサーマルリサイクルの転換は慎重を要し、限られた組成でしか現実として受け入れ先がない。特に塩素の問題は高いハードルとなった。安易に市町村で取り入れたところは何となく引き取ってもらって使ってもらっているという始末。ただ、研究熱心と何となくリサイクルさせたいという企業家が進めたものは商売としても成り立つほどの発展を納めている。	ED DERIVED FUELSの略で一般廃棄物（事業系も含む）から破砕、分離、硬化されたもの、固形燃料といふこともあり、初期において乾燥過程において乾燥の危険性があった。紙ごみを主原料として、発熱量五〇〇〇Kcal/リ前後、長さ一〇〇ミリ前後で、ボイラー効率九〇％弱というもの。初期においては発熱量が成分の問題から一定せず困惑した。RDFをつくる際の品質管理、作業工程と塩素を分離する。ウ	古紙のリサイクルにおいて紙以外の他用途利用の分野で固形燃料のRDF、RPFがある。現在、順調に流れているのは限られたものでだけコストと需要の課題がクリアされていない。古紙が余剰の時にらざらず、製紙会社の設備増設の中、需給タイトの現状ではクローズアップされていない。	古紙の利用増大に連産省指導のもと研究された。しかし、ダイオキシン問題からサーマルリサイクルの転換は慎重を要し、限られた組成でしか現実として受け入れ先がない。特に塩素の問題は高いハードルとなった。安易に市町村で取り入れたところは何となく引き取ってもらって使ってもらっているという始末。ただ、研究熱心と何となくリサイクルさせたいという企業家が進めたものは商売としても成り立つほどの発展を納めている。	ED DERIVED FUELSの略で一般廃棄物（事業系も含む）から破砕、分離、硬化されたもの、固形燃料といふこともあり、初期において乾燥過程において乾燥の危険性があった。紙ごみを主原料として、発熱量五〇〇〇Kcal/リ前後、長さ一〇〇ミリ前後で、ボイラー効率九〇％弱というもの。初期においては発熱量が成分の問題から一定せず困惑した。RDFをつくる際の品質管理、作業工程と塩素を分離する。ウ	古紙のリサイクルにおいて紙以外の他用途利用の分野で固形燃料のRDF、RPFがある。現在、順調に流れているのは限られたものでだけコストと需要の課題がクリアされていない。古紙が余剰の時にらざらず、製紙会社の設備増設の中、需給タイトの現状ではクローズアップされていない。	古紙の利用増大に連産省指導のもと研究された。しかし、ダイオキシン問題からサーマルリサイクルの転換は慎重を要し、限られた組成でしか現実として受け入れ先がない。特に塩素の問題は高いハードルとなった。安易に市町村で取り入れたところは何となく引き取ってもらって使ってもらっているという始末。ただ、研究熱心と何となくリサイクルさせたいという企業家が進めたものは商売としても成り立つほどの発展を納めている。	ED DERIVED FUELSの略で一般廃棄物（事業系も含む）から破砕、分離、硬化されたもの、固形燃料といふこともあり、初期において乾燥過程において乾燥の危険性があった。紙ごみを主原料として、発熱量五〇〇〇Kcal/リ前後、長さ一〇〇ミリ前後で、ボイラー効率九〇％弱というもの。初期においては発熱量が成分の問題から一定せず困惑した。RDFをつくる際の品質管理、作業工程と塩素を分離する。ウ
---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--	---	--	--

平林氏、佐藤氏が新任
岡山県連・資協新代表理事選出

事業協同組合連合会（小六澄理理事長）と岡山再生資源事業協同組合（平林久一理事長）では五月二十六日に岡山東急ホテルにおいて平成十二年度の総会を開催した。

その席上で役員改選で代表理事がそれぞれ交代し岡山において業界体制が新たなスタートをきる事になった。今回の役員改選で岡山県連の小六理事長は「夫人の看病専念」ということで勇退し平林氏が新理事長に就任。岡山資源協の理事長であった平林氏はこれに伴い、

佐藤鞆夫氏に理事長をバトンタッチした。

総会終了後の懇親会で、平林県連理事長、小六前県連理事長、若手の佐藤岡山資源理事長がおのおの挨拶し、連合会として協同組合のさらなる発展を祈念した。また、来賓に駆けつけた倉林喜一郎岡資連会長から平林新理事長、佐藤新理事長に対して業界のリーダーとして活躍されることと小六前理事長の今まで活躍に敬意を表した。

新部長に飯田氏

青年部総会、吉村教授が講演

日資連青年部（横田一夫部長）の総会が、四月二十二日に奈良資協青年部の設営で京都の「パステル京都」で開催した。今回の総会では役員改選があり、群馬の横田部長から千葉の飯田俊夫新部長に交代し、飯田新体制のもと今後の活動方針について積極的な話し合いが行われた。

また総会終了後にお馴染みの吉村哲彦金蘭大学

新部長に飯田氏

目により、NECが対象品
 目の製品から撤退するこ
 明した。
 家電リサイクル法施行
 により、NECが対象品
 目の製品から撤退するこ



飯田青年会



飯田青年部長



佐藤岡山資協理事長



平林岡山県連理事長

日資連青年部OB会のお知らせ

前略、超劣悪の業界環境もいくぶん改善され、各協同組合の努力が実を結びつつあることと推察致します。さて、来る7月16日(日)～17日(月)にかけOB会を開催する運びとなりました。年に一度のOB会、お忙しいのは承知のうえお誘い申し上げます。

期 日	平成12年7月16日～17日	午後3時集合
場 所	岐阜県長良川温泉	岐阜観光ホテル 十八楼
	岐阜市湊町10番地	☎058-265-1551
オプション	17日にゴルフコンペを予定しています。	
申込先	7月1日まで幹事 片岡 繁(東京)	
	☎03-3897-5717 FAX03-3897-5603	
会 費	¥20,000-	

環境フエアで啓蒙

千葉県民まつりで意識調査

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会（倉林喜一郎会長）では、六月十日・十一日に暮張メッセ国際展場で開催された「わくわく県民まつり二〇〇〇年みんなで拓くふるさとちば」の平成十二年度環境フェアで行政ゾーンに出展した。

出展内容は、古紙リサイクルの啓蒙推進で末端回収から製品までの古紙に関するビデオ上映、古紙に関するクイズやアンケートによる県民の知識度、意識調査を行った。また再生品利用促進では千葉県連の「みんなでつったてリレットペーパー」を啓蒙普及のために特価販売を行った。

この催しは、千葉県主催、環境庁後援で協賛が（財）千葉県環境財団、（社）千葉環境保全協議会、（財）印旛沼環境基金、（財）日本電動車両協会、（財）エコ・ステーション推進協議会、（社）日本ガス協会、（社）千葉県経済協議会、（社）千葉県産業廃棄物協会、千葉県産業廃棄物処理業共同組合と行っている。

環境月間テーマに沿った二十一世紀の地球環境保全のための取組や循環型社会の構築に関する内容等について、関係各課から県民に課題を分かりやすく解説。

〈企業ゾーン〉

県内の企業であつて環境保全対策を先進的に実施している企業や環境保全型製品を開発・販売し活動を展開させる予定。千葉県全体のリサイクルの役割分担で出展にあつた。県連事業なので親会の承認ももらいながら、青年部の独自性も活かして、取り組んだ。開催日は、倉林会長以下県連役員も応援に駆けつけ「リサイクル循環型社会」を広く県民に訴えた。

行政と共に啓蒙を行い、県民全体の意識高揚による循環型社会構築を目指すのが今年で二年目。アンケート収集データを元に



県民まつり環境フェア行政ゾーンでの千葉県連メンバー

型経済社会における資源回収事業リサイクル戦略をテーマに講演会を行った。各地でごみ処理が進んでおり、一般家庭ごみ袋は十五円の背景や容り法の対象しならない折りたたみ式箱などの実例を紹介。

また食品リサイクル法では、コンビニやレストランなどでごみ残渣が全体の二割の六分を超える」と営業停止になること、年間売上げ二兆六千億円のダイエー、一兆九千億円のセブンイレブンの中、おにぎりの売上げが七億三千万円あるが年間の食品残渣や調理残渣が五十二トンから一〇〇トンである事業者はリサイクルしなければならぬことを説き、努力したいと存じます。

型経済社会における資源回収事業リサイクル戦略をテーマに講演会を行った。各地でごみ処理が進んでおり、一般家庭ごみ袋は十五円の背景や容り法の対象しならない折りたたみ式箱などの実例を紹介。

また食品リサイクル法では、コンビニやレストランなどでごみ残渣が全体の二割の六分を超える」と営業停止になること、年間売上げ二兆六千億円のダイエー、一兆九千億円のセブンイレブンの中、おにぎりの売上げが七億三千万円あるが年間の食品残渣や調理残渣が五十二トンから一〇〇トンである事業者はリサイクルしなければならぬことを説き、努力したいと存じます。

に岐阜県長良川温泉の岐阜観光ホテル十八楼で午後三時より開催する。日資連青年部ＯＢ会とは、日資連青年部が再結成された（当時部長・新井英一氏、約十五年前より現在にいたるまでに各単協青年部において活動してきたＯＢの親縁を目的とした会である。

また同時に現役青年部幹部の参加を募ることにより親と青年部との世代のギャップを埋める事に貢献している。

ＯＢ会では名簿作成も計画しており、該当する諸氏（日資連青年部経験者は誰でも可）は、今回の会合の参加は勿論次回以降の連絡の為に「事業」に「報告」下さい。

といわれる本年は、各法律が整備され日資連として組織力を発揮できる否かで、今後業界の生き残れるかどうか決まる。各単協での事業推進は軌道に乗る反面、行政の対応変化で問題に直面しているところは少なくない。国に対して働きかけられるのは全国団体しかない。事業組合として発展するには法的根拠は必然である。

今号で日資連の指針と業界の問題点をクローズアップさせ、業界の役割を明確にさせていきたい所存です。情報化時代のなか、正確な情報とコミュニケーション、切磋琢磨、足元を固めたい。本年もよろしくお願ひします。

編集後記

二十一世紀に向けて新
度がスタート。正念場
が整備され日資連とし
組織力を発揮できる否
で、今後業界の生き残
るかどうかが決まる。